

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会
第 35 号
2014 (平成26) 年1月18日 (土)

仁の心

千歳市立千歳小学校3年 池田 沙和

こども論語塾に通うのは、いつも楽しみです。新田先生がむずかしい論語をわかりやすく教えてくださるので、みんなと一緒に論語を学ぶのが楽しいです。私が好きな章句は、「仁に里るを美と為す。択びて仁に処らずんば、焉んぞ知るを得ん。」です。仁の心を大切にすることが美しいのだ。自分で選んで仁からはなれてしまっは、どうして知者といえるだろうか。

私は仁の心をケンカやいいあらそいでときどき消えて、いつも心に持つことはむずかしいと思います。

私のお母さんも仁は一生しゅぎょうしないと持てない。とっています。

仁を持つことは、長い道のりがひつようです。でも、毎日一つでもいいから仁の心を持つことを心がけるとちょっとずつでも身につけられると思います。

坐禅は最初しびれたり、すぐくずれたりしました。今は姿勢良くきちんと坐禅ができるようになりました。

新しい年をむかえて、今年の私の目標は、やはり仁の心を持つことです。来年もさ来年も同じ目標になると思います。なぜなら、仁の心を身につけるには一生しゅぎょうが必要だからです。

なので今年も新田先生にみんなと一緒に論語塾で論語を学びたいです。

※ 来月は石井雄大君をお願いします。

開塾 四年目の新年を迎えるにあたって

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

あけましておめでとうございます。

2014(平成26)年がスタートしました。塾生の皆さんは、この冬休みをどのように過ごしましたか。

いよいよ、まとめの学期です。一年間の反省をきちんとし、自分としっかり向き合っ次へのステップにつながらよう努力してほしいと願っています。

「寺子屋・こども論語塾」は四年目に入ります。私は四年目の新年を迎えるにあたって次のことを皆さんに訴えたいと思います。

一つ、思いやりの心を持った人になるよう努力すること。二つ、あいさつがしっかりできるように努力すること。三つ、積極的に手を上げ恥ずかしながらに発表できる人になるよう努力すること。四つ、言ったことは実行するように努力すること。五つ、がまんすることの大切さを身に着けるよう努力すること。

以上五つのことをやりきれ塾生になってほしいと強く願っています。

音の響きとリズムを楽しむ子供達の「論語」。人生経験豊かな大人がじっくり味わう「論語」。それぞれの熱い思いをのせた声が重なり合っ、北大寺の本堂に響き渡る素晴らしい素読に心打たれます。

そんな素晴らしい皆さんに書いて頂いた「三年の歩み」の感想文を何度も読ませていただきました。感動で胸が熱くなり、涙をこらえることができませんでした。皆さんの思いを決して無にすることなく今後も努力していく決意です。

今年も塾生の皆さんが塾に来てよかったと思えるような何か新しい試みへの挑戦もできたらと考えています。また、「論語教室だより」並びに「塾生・保護者向け補助テキスト」も引き続き発行していきたいと思っています。

今月から新しい塾生が加わりました。同じ目的を持った仲間を迎えることは、私にとりましてこの上ない喜びです。

今年もまたどうぞ宜しくお願い致します。